

< シミ・そばかす・くすみ >



シミは、美容治療の中で最も多い悩みとなっています。その原因は、紫外線、遺伝性、あざの仲間、ホルモンバランス、炎症後の色素沈着（皮膚炎に続発してシミが出来る）など様々です。長い年月で出来たシミは、1 回限りの治療ではすっきりとはきれいにはなりません。単独治療だけでなく 2 つ以上の治療を組み合わせたり、基礎のお肌のお手入れから見直して、無理のない優しい治療を継続することで、より効果があがります。お顔の目立つシミが薄くなれば、見た目年齢も若返ります。ぜひ、シミ治療を始めましょう。

● レーザー照射治療 ～ レーザーフェイシャル・レーザーピーリング ～

使用するアレキサンドライトレーザーは、皮膚のメラニン色素に選択的に反応し、表在性色素斑（老人性シミ・そばかす等）の治療に適しています。レーザー照射時には表皮冷却装置が働き、ダウンタイムは殆どありません。また、脱毛や肌質改善効果の相乗効果があり、人気の高い治療となっています。

【 治療の効果・効能 】

- ・ シミ、そばかすの改善 : ダウンタイムが少なく継続治療に最適
- ・ 毛穴の黒ずみ改善 : 毛穴のひきしまりに繋がります
- ・ 肌質改善 : きめを整え、くすみ改善効果
- ・ ニキビの改善 : 毛穴のニキビ菌の殺菌
- ・ うぶ毛を含めた脱毛 : メラニンへの反応で脱毛効果



【 治療の流れ 】 ～ 治療は約 20 分 ～

メイクを落としていただいた顔全体に照射します。目は防護します。照射と同時に冷却ガスが噴射され、痛みが和らぎ、安全に治療ができます。照射後、お肌のクーリングを行います。直後からメイクも可能です。

【 よくある質問 】

Q. レーザーフェイシャルは何回くらい受ければよいですか？

A. 「ダウンタイムが軽い」メリットのかわりに、1 回、2 回では効果を感じにくいかもしれません。月に 1 回、5～6 回程度受けていただくことをおすすめします。

Q. 5～6 回で治療は終了ですか？

A. あくまでも目標回数です。シミ治療は、治療開始までの年数、発症原因、皮膚加齢などの多因子が影響しますので、ゆっくりとシミがうすくなっていくイメージです。5 回以上の長期施術は、肌質改善、コラーゲン増量からのしわ、たるみ改善など、他の効果も実感されてくるのでおすすめです。

Q. 妊娠中ですが治療は受けられますか？

A. レーザー自体にはお腹の赤ちゃんには影響はありません。女性ホルモンのバランスの乱れで、色素沈着や痛みの増強などのリスクの可能性があります。

● 外用治療 ～ トレチノイン・ハイドロキノン療法 ～



トレチノインは角質をはがす作用があり浅い層のシミが薄くなります。ハイドロキノンメラニン色素の産生を抑える作用があります。両者を組み合わせることで、より効率的にシミが改善します。さらに、レーザー治療との併用で、あらゆる種類の表皮内色素沈着症を治療することが可能となっています。

※ 当院では、上述のレーザーフェイシャル治療（5、6 回）の後に、この外用療法へ移行する流れを多く採用しています。

※ シミのうち＜肝斑＞は、レーザー治療により悪化する場合があります、このトレチノインハイドロキノン療法やトラネキサム酸内服療法が、有効な治療となります。

【 治療の流れ 】 ～ 代表的なホームケア（セルフケア）の一つです ～

トレチノインとハイドロキノンの 2 つの外用剤を、「2 剤同時外用する期間（漂白期間）」、「ハイドロキノン 1 剤のみ外用する期間（鎮静期間）」などと、医師と一緒にシミの状態を確認しながら治療を進めていきます。一般的には、「2 剤を同時に外用する（漂白期間）」からスタートし、色素が薄くなるまでの約 2 か月間使用します。続けて「ハイドロキノン 1 剤を外用しながら炎症をとる（鎮静期間）」へ移行します。赤みが消失するまでの 1～2 か月間、外用します。このサイクルをくり返ししながら、シミ治療を進めます。

※ 耐性が生じやすいトレチノインは、漠然と長期に使用すると治療効果は減弱します。漂白期間が終了後は必ず休薬しましょう。

※ 上述の期間は、目安です。お肌の状態によって治療を進めていきます。